

薩摩焼陶板の品質安定化研究

デザイン・工芸部 桑原田聡, 寺尾剛, 澤崎ひとみ

変形しやすいという薩摩焼の特性から技術的課題を解決し、品質の安定化を図るために金型を用いたプレス成型法（図1）による陶板の製造について研究を行いました。また陶板の軽量化を図るために微粒シラスバルーンを添加した陶板についても検討を行いました。

原料調整やプレス圧の変化による成形性や強度等の物性を検討した結果、変形が少なく白薩摩の特長である釉薬に貫入のある薩摩焼陶板（図3）を得ることが出来、実用可能であることが分かりました。また軽量化陶板は、通常とほぼ同等の強度で微粒シラスバルーンの添加量に応じて軽量化が図られることがわかりました。

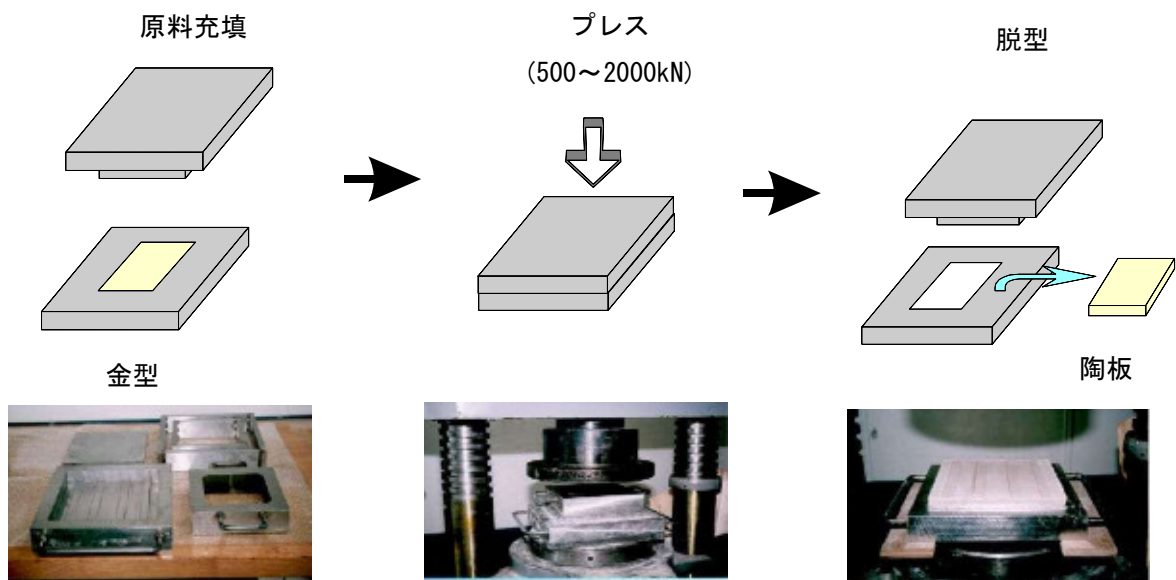


図1 プレス成形による陶板製作工程



図2 油圧式成型機



図3 プレス成形陶板
（左：薩摩焼陶板 右：軽量陶板）